

事業番号	03 03 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	行政経営推進事業	部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課	
		実施期間	H29 ～	E-mail	comp-gyosei @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・コロナ禍や社会のデジタル化の進展、災害の頻発化と脱炭素社会の構築に向けた取組など社会情勢が急速に変化し、県が直面する課題も複雑化・多様化している。
- ・人口減少下で人員や財源などの行政経営資源が限られる中において、直面する課題に創造的かつ柔軟に対応し、県民のために真に役立つ組織となるため、組織風土の変革が必要。

2 事業目的

- ・社会情勢や県民意識の変化を感じ取り、県民起点に立って変化を恐れず新たな取組に挑戦する「学ぶ県組織」を浸透させる。
- ・長野県かえるプロジェクトの検討結果を踏まえた組織風土改革を推進し、職員が「多忙感」を感じ新たな課題や緊急事態への組織的な対応力の低下が懸念される状況を改善することで、県民のために真に役立つ組織を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①「学ぶ県組織」の浸透と組織風土改革
- ・「県民のために真に役立つ組織、職員が明るく楽しく前向きに仕事ができる組織になるためにはどうすればよいか」という本質的問題に正面から向き合い、解決策を検討する「長野県かえるプロジェクト」の提案を組織として確実に実施するために、提案を踏まえた取組の進捗確認と普及促進活動を実施する。
 - ・既存システムを活用した自動化や業務の集約・外部委託化により人的リソースを捻出し、県職員にしかできないコア業務に職員を配置することにより、業務過多の解消やしごと改革・働き方改革を推進する。
 - ・組織の職場環境や働き方に関する課題感の変化をモニタリングするため、県職員を対象とした「職員満足度調査」を実施する。
- ②行政経営の質的転換に向けた（部局間）連携の促進
- ・「学ぶ県組織」浸透のため、部局間の連携を促すための場や機会を設ける。
 - ・県と密接な関係にある組織や団体について、所管部局と連携し、社会情勢に沿った適切な運営がなされるように促す。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①②	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	3,034	0	3,034	3,034	2,698	5.0
R5年度	0	2,171	0	2,171	2,171	1,833	5.0
R4年度	0	1,517	690	2,207	2,207	2,033	4.5

事業番号	03 03 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	行政経営推進事業		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課

7 主な取組実績と成果

①「学ぶ県組織」の浸透と組織風土改革

・10のプロジェクトによる「制度と仕組みの変革」と全庁的な重点アクションによる「職員の意識の変革（働き方改革）」に着手し、年4回の進捗会議を通じて進捗管理を行うとともに、各所属で旗振り役となる実行キーパーソン（部局長・課室長等約700名）へかえプロ推進の役割責任を意識付けする研修を実施し取り組みを推進した。

<主な成果> 職員提案による約230件の業務効率化を実施中、本庁の一部からフリーアドレス化などのオフィス改革を推進中、ペーパーレスの推進で印刷量29.7%減（R5年度同期比、本庁事務機械室）、職員満足度調査における総合満足度の上昇（4.28（R6年度）←4.14（R4年度））等

②行政経営の質的転換に向けた（部局間）連携の促進

・部局間の連携を密にするため、行政経営推進会議を11回開催し、組織風土改革の取組などに対する理解促進を図った。
 ・外郭団体の事業実施状況評価（令和5年度事業分）を実施し、公表した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①②	指標なし	R5年度推移	-	R6年度推移	-	達成状況	—

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・組織風土の根源的な課題である業務量の多さや多忙感の解消について、職員が実感するまでには至っていない。
 ・人口減少が進み現状の職員数維持が困難となる一方、多様化する社会課題への対応が県組織の許容量を超え、様々な影響が生じる恐れがある。

(2) 事業改善の方策

・職員が“明るく・楽しく・前向きに”働ける職場環境づくりを進め、県民の皆様にも真に役立つ組織づくりを進めるため、

- ①10のプロジェクトで引き続き制度や仕組みの改革を推進
- ②全庁で取り組む重点アクションを通じた職員の意識改革を推進
 - ・減量化に向けたマネジメントの実践
 - ・部局長と若手職員がチームで取り組む誰もが働きやすい職場づくり 等
- ③しごとの総量を減らす業務改革（BPR）とも連動

事業名	行政経営推進事業	部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課
-----	-----------------	----	-----	-----	----------------

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	「学ぶ県組織」の浸透と組織風土改革		2,033 千円	1,833 千円	2,698 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	組織風土改革普及促進事業	直接	かえるプロジェクトの提言を踏まえ、下記（1）、（2）を実施。 （1）提言施策の普及促進（実行キーパーソン研修）と進捗管理 （2）専用ポータル等を活用した庁内広報 （1）研修会 9回（約700名）、進捗会議 4回 （2）39回		
2	外部委託化推進事業	直接	先進事例の視察等を行い、事務用品の集約化に向けた仕組みづくりを実施。 先進地調査：4箇所 先行導入：本庁2部局（総務部・産業労働部）		
3	職員満足度調査	直接	組織の職場環境や働き方に関する課題感を調査するため、県職員を対象とした「職員満足度調査」を実施。 1 組織風土改革普及促進事業と連動して1回実施		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	行政経営の質的転換に向けた（部局間）連携の促進		— 千円	— 千円	— 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	行政経営推進会議の開催	直接	部局間の連携を密にするために、かえるプロジェクトの普及策等について議論を行う会議を開催。 11回開催		
2	長野県出資等外郭団体の事業実施状況等の評価	直接	外郭団体の事業実施状況評価（令和5年度実施事業分）の評価書等の記載事項チェックを行った後、評価結果を公表（HP掲載含む）。 8月 評価結果公表		
3	審議会等の設置及び運営に関する指針に基づく審議会指導・助言	直接	審議会等の設置及び運営に関する指針に基づき、各部局が審議会等の設置及び条例又は要綱等の改正を行う場合は、内容の確認・助言を実施。 信州未来共創戦略に基づき、若者1名以上原則登用+外国人登用規定の追加に向け指針改訂を検討		